

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.191)

1. PCB処理安全監視委員会について

2月17日(月)に、令和元年度第2回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会では、JESCOからは豊田PCB処理施設のPCB廃棄物処理の進捗状況、運転廃棄物の処理状況等を報告し、処理が順調に進み、現時点では処理能力に十分余力があることをご説明させていただきました。

豊田市からは、豊田PCB廃棄物処理施設への立入検査状況、PCB環境モニタリング調査の結果及び収集運搬業者への指導、豊田PCB処理事業所の処分期間と計画的処理完了期限について説明がありました。

豊田事業対象エリアの4県7市からなる「PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会」を代表して愛知県から、4県7市とJESCO豊田が一体となったPCB処理促進の取組及び東海地区PCB廃棄物処理計画についての説明がありました。

委員からは、「4県7市のPCB廃棄物の掘り起こしの進捗状況を確認させていただいたが、期限までに確実に処理が完了するよう、一層の掘り起こしに取組まれるようお願いする。」との意見が多く寄せられました。

最後に、環境省から、PCB廃棄物の適正処理の促進に向けた周知・広報の取組、令和2年度のPCB処理推進予算の内容等について説明がありました。



2. 交通安全講習を実施



2月に(一財)愛知県交通安全協会交通安全普及所の交通安全講習を4回に分けて、JESCOと運転会社の社員165名が受講しました。

初めに「運転適性検査」を実施した後、ハイビームの使い方、運転中のスマホは危険が大きいことなど、また、ちょっとした注意で事故は避けられることを学びました。

日頃から交通安全に気を付けていても、つい見落としてしまうポイントも説明いただき、大変参考になりました。

3. 毎月21日は安全の日

平成19年2月21日から毎月21日を『安全の日』と定め、始業前に安全集会を実施しています。

また、施設内の安全を確認するために積極的にパトロールを行っています。

この『安全の日』は、過去の事故・トラブルを忘れることなく、常に安全を最優先に操業し、事故等の再発防止を図ることを目的として定めたものです。



PCB処理事業紹介シリーズ 第34回

今回は、豊田PCB廃棄物処理施設へのPCBを搬入するトラックと漏れ防止型金属容器をご紹介します。

収集運搬事業者とは

トランスやコンデンサなどのPCB廃棄物は運搬中も慎重に取り扱う必要があります。そのためさまざまな条件を満たした収集運搬事業者のみが運搬することができます。豊田事業所にPCB廃棄物を搬入できるのは、豊田事業所が入門を許可した『収集運搬事業者』（16社、令和2年3月現在）のみです。

GPS装置
運搬中の場所がわかる

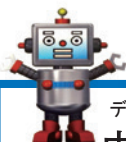
行政の収集運搬業
の許可が必要

漏れ防止型金属容器
万一の事故時でも壊れないよう、頑丈に製作



作業者に収集運搬についての教育を実施

豊田市と協定を締結



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

